

横芝町の人口と世帯

<9月1日現在>

人口 13,791 (+36)

男 6,689 (+15)

女 7,102 (+21)

世帯数 3,518 (±0)

()内は前月比



広報

横芝

第157号

昭和52年10月1日

発行所

山武郡横芝町横芝636番地

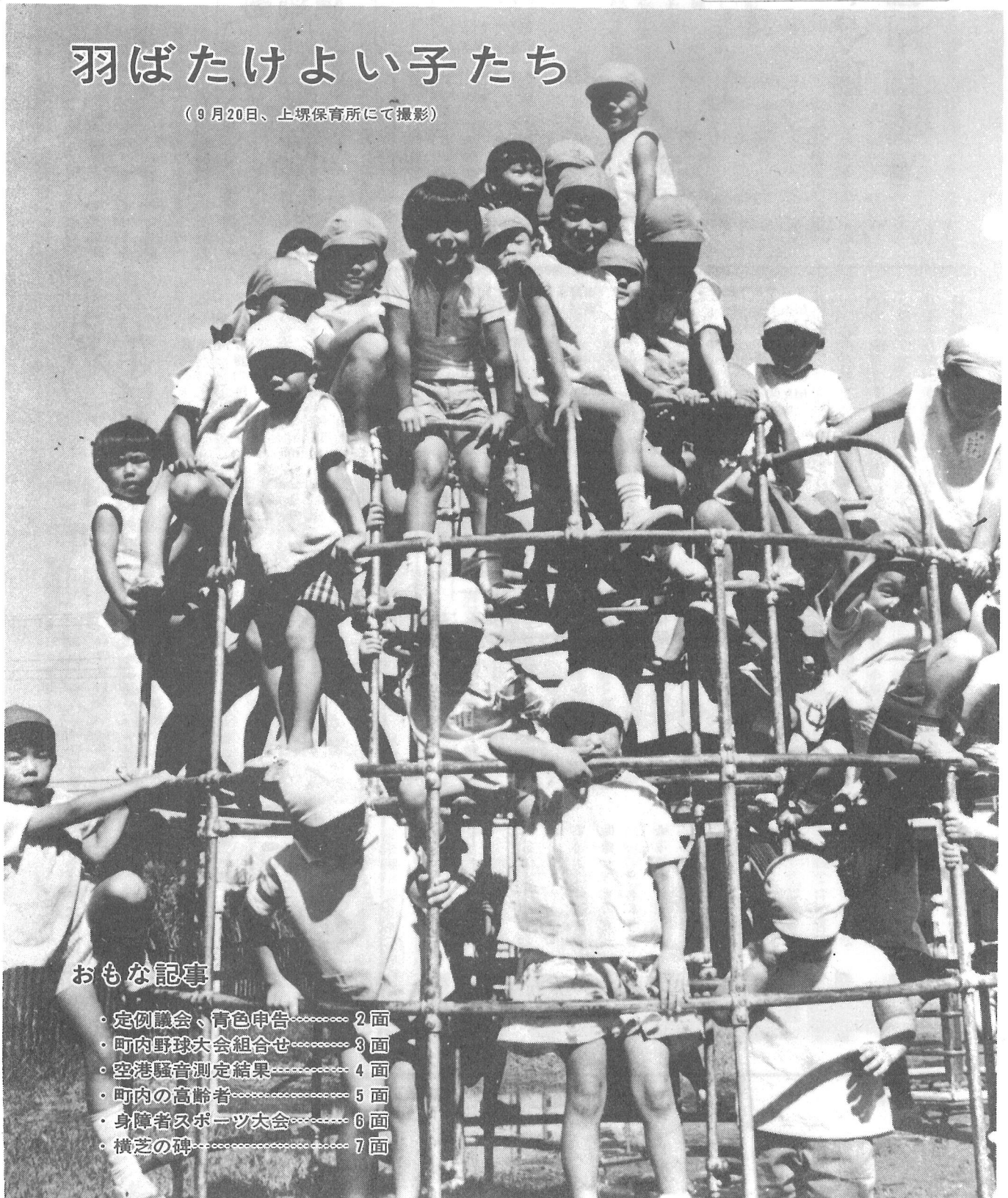
横芝町役場

電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-17

羽ばたけよい子たち

(9月20日、上塚保育所にて撮影)



おもな記事

- ・定例議会、青色申告----- 2面
- ・町内野球大会組合せ----- 3面
- ・空港騒音測定結果----- 4面
- ・町内の高齢者----- 5面
- ・身障者スポーツ大会----- 6面
- ・横芝の碑----- 7面

の町を宣言!

かねてから町、並びに青色申告会、商工会が中心となつて、「町ぐるみの青色」による明るい町づくりを目指すにはどうしたらよいか、町内の各団体、役員の方々と再三にわたり協議を重ねてきました。

その結果、青色申告推進協議会を結成して記帳指導、経営診断などを活発に行い、自己の記帳能力あるいは経営意識を高めることが必要である、

この有利な制度を利用できる人は、農・漁業・卸・小売業、サービス業など自営業の人です。また不動産収入や山林所得のある人もできます。

むずかしい手続きは、いりません。来年から青色申告を始めようと思われ方は、税務署に「青色申告承認申請書」の用紙がありますから、これに必要な事項を記入して、税務署に提出してください。

青色申告をはじめの方へ

は、この控除は受けられません。
④所得から事業主報酬を控除して、残額は法人と同じような課税方法を受ける「みなし法人課税」を選ぶことができます。

このほか、四十近い特典が設けられていますが、実際にどれだけ税金が安くなるのかを示したのが別表です。年収三百万円の人で正確には十二万六千八百十円、白色申告の人より安くなっています。

9月 定例議会

52年度一般会計補正に 1億1千3百余万円を計上

九月十六日・十九日の両日、町議会九月定例会が開かれました。町から提出された議案は、昭和五十二年度一般会計補正予算の議定など三議案で、審議の結果、それぞれ原案どおり可決、承認されました。

〈主な議案とその内容〉

- ▼横芝町火災予防条例を廃止する条例制定について
- 当条例は昭和三十五年に制定されたもので、昭和四十五年十月一日に制定された八日市場市外三町消防組合(八日市場市、横芝町、光町、野栄町)火災予防条例において制定されているので、廃止となったものです。
- ▼昭和五十二年度横芝町補正予算議定について

典 会場……横芝町中央公民館

青色申告の税金が安く

年収三百万円の自営業の人が青色申告すると一般の白色申告より税金が十二万六千円も安くなるということをご存じでしょうか。

青色申告は、毎日の取引を現金出納帳などの「簡易帳簿」につけ、それをもとに申告すると税金の面で有利な特典が得られる制度のことです。

○前年度繰越金・地方交付税等を主な財源として、町道の維持補修・舗装工事・上界保育用地購入・下水整備工事・山武農協大総支所建設事業補助等の所要経費として、一億一千三百二十三万一千円の追加更正が行なわれました。

▼人権擁護委員の推せんにつき、意見を求めることについて

○本年九月三十日をもって任期満了となる木戸台の佐久間義一さんに代つて次のかたが人権擁護委員に推せんされ、満場一致で選ばれました。

人権擁護委員
土屋長八(六十七歳)
姥山六七番地

『町民体育祭』

—秋の1日をスポーツに—

10月9日

恒例の町民体育祭が十月九日(日)、横芝敬愛高校運動場を会場にしておこなわれます。

町民の健康増進と体力の向上をはかり、そのうえ町民相互の親睦を深めることを目的として開催し

ているもので、今年で迎えること九回になります。

町民のみならず、積極的に参加して、秋の一日を思う存分楽しんで下さい。

1日時

昭和52年10月9日(日)

雨天の場合は10月10日

2会場

横芝敬愛高等学校運動場

3参加資格

横芝町民及び町内企業従事者

4ブロック区分

①町原、木戸台、中台、牛熊、谷台

②長倉、連山、取立、姥山、桜前

③坂田四部落、小堤 ④上町

⑤本町、古川、両国 ⑥東町

⑦栗山 ⑧鳥喰全区

⑨北清水 ⑩新島

⑪屋形

5競技方法

ブロック対抗(区分別得点の合計)

・区分 学生(小中高) 青年

(18~25才) 婦人 PTA

6種目

消防 一般 制限なし

競技種目は、誰れもが気楽に参加できるレクリエーション種目を主体に用意してあります。



10月25日 青色申告

との結論に達した
のでさっそく推進
協議会を結成する
ための準備に入り、
このほどようやく
発足のはこびとな
りました。

当日は創立總會
の他に、たくさん
の来賓を迎えて盛
大に「青色申告の
町」宣言式典を挙
行します。

みなさんの参加
をお待ちしていま
す。

◎日時……10月25
日(火)
午前10時から創
立總會
午前11時から式

青色申告の特典

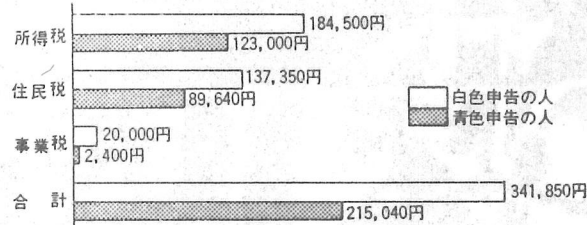
①事業者の妻や十五歳以上の親
族が、もっぱらその事業に従事し
ている場合に支払
った給与は、全額
必要経費になりま
す。

②年末の売掛金
や貸付金の五・五
%（金融業は三・
三%）までの額は
貸倒れ引当金とし
て必要経費にでき
ます。

③一律に十万円
を所得金額から控
除することができ
ます。ただし、次
の④を選んだとき

④を選んだとき

青色申告の特典を受ける前の所得が300万円の場合、合計で126,810円安くなります。



- ※妻に毎月5万円の給料と年間2ヶ月分のボーナスを支給
 - ※年末の商品たな卸高……100万円
 - ※年末の売掛金残高……50万円
 - ※扶養親族……子供2人
 - ※社会保険料支払額……10万円
 - ※生命保険料支払額……10万円
 - ※損害保険料支払額（短期）……4千円
- （みなし法人課税を選択しないものとして計算しました）

また「現金主義による所得計算
をする人」「専従者に給与を支払
う人」「みなし法人課税の選択を
する人」は、税務署にご相談くだ
さい。

生活改善アンケート 調査にご協力を

年々派手になっていく冠婚葬祭
行事。お互いに無理をし、無駄と
思われることの多いのが通例とな
っているようです。

町社会教育委員、総務連絡協
会では冠婚葬祭に関する合理化に
ついて、ひろく町民のみなさんか

ら意見を聞かせていただき、その
推進に役立てるため、生活改善ア
ンケート調査をおこないますので
ご協力くださるようお願いしま
す。

調査の内容はおおむね左記の項
目についてです。

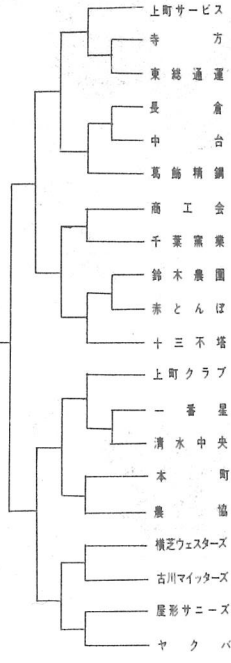
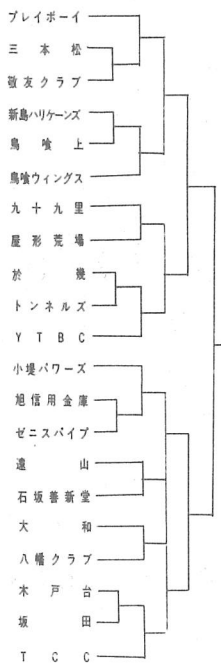
- 1 結婚
- 2 葬式
- 3 新盆行事

- 4 病氣・出産見舞
 - 5 七五三・節句祝等
 - 6 その他現状の経費等
 - 7 成人式
- 調査票は十月初旬に部落役員さ
んが配布、回収にまいりますので
封筒に入れてお渡しください。



組合せ表

優勝戦



秋季町内野球大会 組合せ決まる

秋季町内野球大会の組合せが左記のと
り決定し、十月十五日から約一ヶ月間
にわたり、熱戦が展開されることになり
ました。
春季大会より七チーム多い四十一チ
ームの参加があり、ますます大会も上
りを見せたいです。

テスト飛行結果

最高値は中台の85.5ホン

98%がうるさい

ボーイング747LR機で行われた成田空港の騒音テスト飛行の結果、中台(第一種騒音区域)で八五・五ホン、飛行直下の遠山で八二ホン、姥山で八〇・五ホンとそれぞれ高い騒音値を示しました。また、町内各世帯の協力で行った電波障害アンケート調査結果(回収率30%)では七三・八%の方がテレビの画面に影響があったということです。飛行コース直下(中台、遠山、姥山)を対象に行った騒音に対するアンケートでは九八%が「うるさい」と回答しております。

町議会議員、町空港関連問題対策委員、町職員と合わせて延べ一三四名が参加し、大がかりな測定と調査が行われました。

疑問残る

飛行方式

町をあげて

「開港反対」も...

今回のテスト飛行は、八月七八・十日で延べ一五回の飛行が当初計画されましたが、八日は悪天候のため中止になり二日間で十一飛行が行われました。町では、このテストに際し、町内の要所三か所に固定測定点をきめ、この外に移動測定班二組と三〇か所の測定点を設定しました。テスト期間中は、町長をはじめ

飛行は、空港から太平洋に向っての離陸が四回。太平洋側からの着陸が四回。横芝・松尾・光町上空の通過が七回で、騒音最高値を記録した第一回目の着陸では中台(秋鹿隆さん宅)固定点で八五・五、遠山(五木田正吉さん宅)固定点八〇、姥山(伊藤利雄さん宅)固定点七九・五、角田(伊藤仁さん宅)移動で七三ホンを記録。同じく離陸時は中台(固定)で七八・五、遠山(固定)七六、姥山(固定)七五・一、桜前(移動)七九、牛熊(移動)六七ホンと記録されました。この数値を見てわかるように、離陸方式が急上昇方式のため着陸時の方が高騒音を記録しました。この外、中

台地区の民家防音家屋の効果調査では、室内での減音率は五〇〜六七%でした。

これらの調査結果と騒音体験をもとに、去る九月二六日には空港関連問題対策委員会が、二九日には空港対策議員協議会が開かれ、騒音対策のために交付される周辺対策交付金の配分は飛行直下重点に。回答期日を明示するように。優良企業を誘致して町の発展を図る。などの要望に対する意見が出されました。二十六日の対策委員会では町長は「町の要望を満たしてくれないければ町をあげて反対」という空港問題に対する強い姿勢を示しました。

最重点要望事項

公団、千葉県に要望して来た一八項目を六項目に絞り最重点要望事項として再度要望することになりました。

運輸省・公団に対するもの

- 一、空港から町を経由し、総武本線と連繫を保ち、九十九里海岸まで鉄道を延伸する。
- 二、空港からBラン直下を通り海岸線まで直通道路を新設、また空港関連道路と接続する開発道路を新設。(Aラン直下周辺)
- 三、遠山・姥山及びこれに準ずる区域を民防対象とし、工事費は全額公団負担とする。
- 四、周辺対策交付金の交付基準を騒音下地域最重点に配分する。

県に対するもの

- 一、騒音区域とその周辺地域の産業振興に対する大幅助成と町の発展策を講ずる(農道舗装、灌漑施設整備、施設園芸整備事業、空港関連企業の誘致)
- 二、騒音区域の立地規制に当たって地元住民と町の意見を充分反映させる。以上が要望の概要ですが町は町民の皆さんと共に、これらの要望事項に対して関係当局の誠意ある回答を期待しております。

支給月が

変わります

今まで福祉年金は、一、五、九月の各期月に支給されていましたが、次回から一ヶ月早く、十二月、四月、八月の各月に支給されることになりました。

また、支給開始日についても、各期月の十一日から開始することになりましたので注

福祉年金

意して下さい。

なお、十二月期分については、希望により、十一月からでも受給することができます



いつまでもお元気で 90歳以上は16人

「いつまでも健康で長生きをして下さい」——敬老の日を前にした九月十四日、佐瀬町長は、椿やすさん（東町第3・九十七歳）ら九十歳以上のお年寄り十六人を訪れ、記念品を贈って励ましました。記念品は、表に「寿」、裏には長寿の鳥「鶴」を形どった座蒲団（男は青、女は赤）が贈られました。
この日突然町長の訪問を受けた老人ホームのお年寄りたちは、「長生きをしたおかげでありがたいことです」と喜んでいました。



椿 やすさん(97歳)
明治13年5月22日生
(東町第3)



杉本 そのさん(98歳)
明治12年3月15日生
(養護老人ホーム)



鈴木 かんさん(93歳)
明治17年1月19日生
(長倉)



実川藤四郎さん(95歳)
明治15年7月10日生
(古川)



金澤 のぶさん(93歳)
明治17年2月19日生
(養護老人ホーム)

90歳以上のお年寄りの方々 (出生順)

部	落	氏名	世帯主	年令
坂田池		山路あき	老人ホーム内	99
"		杉本その	"	98
東町第3		椿やす	よし	97
古川		実川藤四郎	節	95
長倉		鈴木かん	文子	93
坂田池		金澤のぶ	老人ホーム内	93
"		戸田甲	"	92
上町第3		鈴木まさ	恭一	92
遠山		小川ちい	秀男	91
坂田池		川口たつ	老人ホーム内	91
中台		瀬理志つ	豊	91
鳥喰下		市原ゆき	一郎	91
木戸台		菅澤みつ	晃光	91
中台		鈴木まさ	※本人	90
大島団地		早川とく	明子	90
立会		伊藤理三郎	栄	90

最高令者は山路あきさん

(99歳)



町内の最高齢者は、老人ホーム

内の山路あきさん(九十九歳)。

からだも丈夫で、眼、耳ともにしっかりしていて、「長生きの秘けつは？」と聞くと、「好き嫌いをなく、食事は何でも残さず食べることです」との返事が返ってきました。

赤い羽根共同募金で

あなたも福祉参加を

10月1日～12月31日

赤い羽根で親しまれている共同募金運動が、ことして満三十歳を

迎えました。

この運動は、みんなが協力して世の中の不幸をなくし、みんなが幸せであるようにということで行うもので、この願いが赤い羽根にこめられています。

昨年度の町の募金額は、目標額五十八万六千九百三十円に対し、六十六万三千九百七十四円のご協力をいただきました。そしてこのお金は社会福祉施設や福祉事業に配分し活用されました。

今年町の目標額は七十万円で、

各総務員さんのご協力を得て、募金運動を行います。最近の社会情勢から、ともすると私たちの身近な人々との連帯や思いやりが失われがちですが、町民の皆さまにはこの運動の趣旨をご理解いただき、一層のご協力をおねがひします。

健康で生きていくことの感謝の心が、この小さな善意で伝えられるならうれしいことです。

みごとと準優勝

第6回山武地区身障者スポーツ大会

九月二十二日、東金青年の家グラウンドを会場に、第六回山武地区身障者スポーツ大会が開かれ、横芝町チームがみごと準優勝しました。

この大会は、山武地区の身体障

害者が、スポーツを通じて体力の維持増強や、心理的更正の効果を図るとともに、一般社会の身障者に対する正しい認識の向上と、深い理解を高めるために毎年おこなわれるものです。

選手、応援団のみなさん、ご苦労さまでした。

横芝町からは、伊藤会長をはじめ十余名の選手が参加し、各種目に健闘、着実に点数をかき寄せました。

全競技終了の時点で、総合点が九十九里町と同点となり、優勝杯をかけて団体競技(玉入れ)で決勝をおこないましたが僅かに及ばず、優勝は逃がしましたが、他市町村チームからひと際高い拍手を受けました。

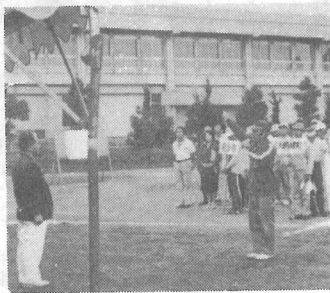


横芝町チームの方々。

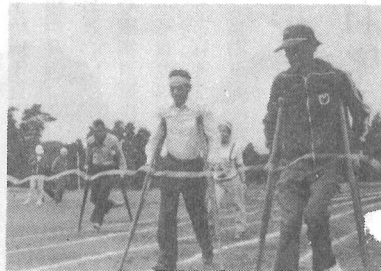
▼同点決勝での玉入れ競技。応援にも熱がはいります



▼元気に選手宣誓をする佐久間新一さん(木戸台)



▼みごと1位でテーブルを切る柳橋安雄さん(長倉)



農業委員会会長 清宮宏視氏

町農業の再建に全力投球

は減り、農業は衰退の一途を辿って参りました。単に、当面の所得を高めるということになれば、一年に一作か二作の農業よりも、生産性の大きい工業に、金や土地や人をつぎ込んだほうがいいにきまっています。

然し、国が健全に、平和に発展して行く為には、食糧は出来るだけ国内で生産し、農、工がバランスのとれた成長をして行くことが必要だと思えます。農業は衰退しても、食糧は輸入し工業が発展すれば良いという姿勢をとってきたところに、高度成

長路線の根本的な誤りがあったと思えます。

例の石油パニック以来、高度成長時代は終りを告げ、低成長時代へと移行して参りました。そして農業見直し、農業復権という機運が起こって参りましたことは、当然のことだと思えます。著しく衰退してしまつた農業に活を入れ、再建することが大きな政策課題となつた事は事実でありましょう。横芝町農業委員会としても、たくさんの重大な問題をかかえています。成

田空港の開港による農業への影響、都市化の進む中での農地の確保、転用の問題、買占め土地の農地への奪還、意欲的な農家に農地の経営権を、後継者の魅力を感じる農業への脱皮、農業者年金の問題等委員会として真剣に取り組むべきことがたくさんあります。

私達は姿勢を正して諸問題を厳正公平に処理し、農業を発展させ、そして地域の発展に寄与致すつもりでございますので、町民の皆様方の御指導と御協力を切にお願い申し上げます。

横芝の碑 (その六十)

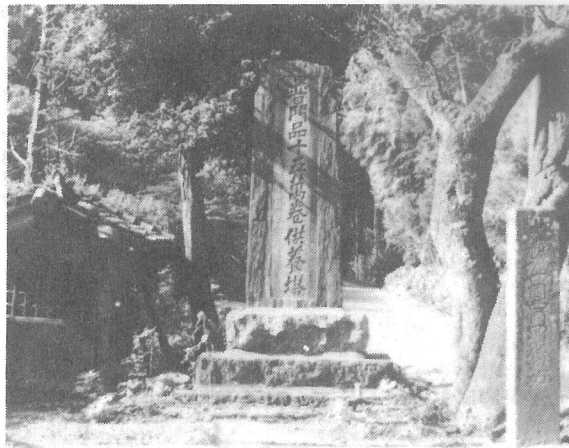
追分の昔を語る二基の碑

横芝町指定文化財の第一号は、木戸台町原地区の稻荷神社境内の乳銀香です。ここは昔寺院の建っていた跡といわれていますが、道路を距てた真向いの一隅も寺院の敷地であったという話です。その関係なのでしようか其処には石仏、札所のお堂、普門品供養塔、順礼回期供養碑が立ち並んでいます。

普門品供養塔は上町の石合山大師堂を開基された町原の吉岡宗治郎さんが発願人になられて建立されたものといわれ、表面には、普門品十五万巻供養塔、大僧正田中照心圓圖。裏面には、白浜、匠磋須賀、蓮沼、睦岡等、十数ヶ町村に及ぶ善男善女三百名余の氏名が出身町村別に刻まれています。

普門品供養は、普門品経文の一卷を唱名する毎に一供養が済む、ということになるのだそうです。十五万巻供養といえますと、仮に裏面に刻まれている人々が一念発願に全員参加されたとしても、一人五百回の唱名を果さなければ念願は成就されなかつた訳で、特に十数箇町村に跨る広い地域の皆さんですから大変でした。皆さんはお互いに連絡をとり合い、若し仲

間の中で病氣又は旅行等で唱名が不可能な場合は、誰かがその分の唱名を行ない、又唱名の度数を誤



らない様にと、袂の中に構寸の軸を入れて確認をする等をして、漸く念願成就を果したということですよ。

さて、その喜びを記念し、衆生済度の供養塔を建立することになった時、発願人の吉岡さんの頭には、すぐに順礼回期供養の隣が浮びました。その頃、此処には枝振りも見事な老松と、樹令を誇る桜

の大樹が四季折々の風情を見せていましたし、また、今では農用の路位にしか考えられていないこの道路が、昔は、多古を経て佐原方面に通ずる本街道になっていた、謂はば、此処は本街の追分になっていたのです。従って昔は人馬の往来も繁く、来る者、往く者、離れる者、此処を通過した人々の思いがこもった場所だった訳です。その人々の後生安樂の祈願も併せて此の場所を選んだという話です。

普門品供養碑建立場所の目安になったという順礼回期供養碑は、稍々軟質石材の角柱状で、表には奉順礼

四国西国回期供養碑、坂田方面寄の面には、東、さかた、よこしば、浜

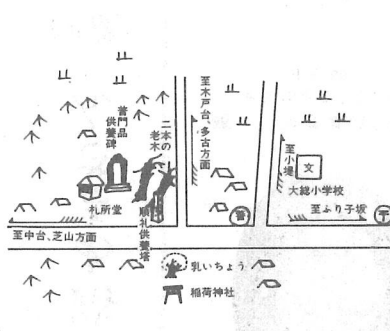
道、中台方面寄の面には、西、○柴山、さくら、江戸道、そして裏面には、北、木戸台、多古、さ原道、と刻まれています。

表面の文字は、判りと読みとれませんが、道しるべの文字は漸く判読できる程に朽ち欠けていますが、ここが追分、佐原へ通ずる本街道であったことを伝える、極めて大切な碑といえる訳です。

◎写真は、普門品十五万巻供養塔(中央)と道しるべを兼ねた奉順礼四国西国回期供養碑(向って右)で、格子戸の嵌った小さな建物が礼所のお堂で、更に左奥には明和五年二月、十九夜講中と刻まれた石像が建っています。

順礼供養碑の後は、二本の朽ちかけた老幹が見えています。しかし、美事な枝振りや爛漫と咲き誇った花の春は語草となって残るだけです。老幹の下を通過して普門品供養碑の後の方へ白く光って続いているのが昔の佐原街道です。

今、追分の昔を偲びながら、二つの碑の前に立っていますと、佐原街道が本街道としての使命を失



い、追分の道しるべとなっていた四国西国順礼供養碑も、朽ち欠けて消えて行く文字と共に道しるべの善意は忘れられてしまふであろうこと。そして、前に取材した石合山開基の吉岡宗治郎さんのお名

前に再びお目に掛ったこと等を思い併せ、暫らくは立ち去り難い感傷に陥るのでした。(本校取材に当り、前大総郵便局長吉岡常二氏他の方々の御指導と御協力を戴いたことを申添えます)文化財審議会委員 小沢春光氏寄稿

町民文化祭を前に

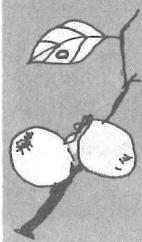
青年団

青年団では、青年教室をはじめ、各自で文化祭の準備、バザーおよび美術展の作品づくりをおこなっています。

毎月第三土曜の夜、多数の団員が集まって、十一月三日から六日までおこなわれる予定の文化祭に備えて、リボンフラワー、ペーパーフラワー造りを公民館の視聴覚室を借りておこなっています。

若者よ。秋の夜長を我々団員といっしょに過ごしてみませんか？

お問合せは 横芝町青年団長 藤ノ木茂 (☎2-3116)まで



行政に関する苦情は

「行政相談制度」を利用して

10月16日～10月22日

十月十六日から十月二十二日までの一週間は「行政相談週間」です。

行政相談週間は、皆さんから行政に関する苦情をお受けして、その解決のお手伝いをする「行政相談制度」を皆さんに知っていただき、利用していただくために実施されるものです。

横芝町では、この行政相談週間に、巡回行政相談所を下記の日程で開きますのでお気軽にご利用

下さい。

月 日	時 間	場 所
10月17日	午前9時～12時	中央公民館
"	午後1時～4時	大 総 会 館
10月18日	午前9時～12時	上 界 会 館

建設のあゆみ

〈8月～9月〉

完成した事業

- ・道路舗装新設工事
 - 町道新島荒場区内線 165.0m
 - 町道鳥喰沼区内線 1,593.0m
 - 町道横芝3号線 257.0m
- ・道路舗装補修工事
 - 町道横芝小裏線 220.0m
- ・橋梁拡幅工事
 - 横芝町鳥喰下地先 2.2m

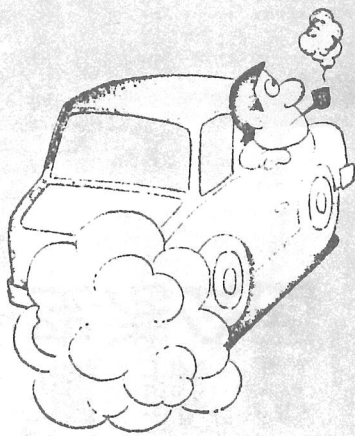
着工および工事中の事業

- ・校舎防音工事
 - 横芝中学校 3,870.44m²
 - 横芝小学校 3,921.13m²

空ぶかし

50回で250ccのソソ

ガソリンは走るための大事な燃料です。中型車が1日50回空ぶかしをすれば、200cc～250ccのガソリンをムダにします。これは車を約4キロメートルも走らせることができる量で、それだけ空気もよごします。



— 303 —

青少年のつどい

千葉県大会 開催

県内の青少年が、友情と自覚と誇りを高めることを目的とした第十二回青少年のつどい千葉県大会が、十月二十三日、午前九時三十分から県総合運動場を会場に開催されます。

当町からは、少年ソフトボールの部に、郡代表として東町こども会（水野忠征監督）が、意見発表に横芝中の下島聡君（古川）がそれぞれ出場します。皆さんの温かいご支援、ご協力をお願いします。

横芝俳壇

横芝句会九月例会

稲刈るや単線一本明治より
 五位わたる声の折節夜や長き
 長き夜や補聴器で視るテレビ囲碁
 欄干も稲架なり雨後を刈り急ぐ
 柱割るる音を背に聞く夜長かな
 浜館枕辺に蟹の夜長かな
 夫の墓と離れて住むや花木権
 盆のまま荒れたる墓の木槿垣

土屋 栗水
 石川 奇水
 土屋 栗舟
 藤代 ゆう
 成田 様子
 斉藤 ちくろ
 向後 雅子
 鈴木 南知

木下石果子
 三枝 句城
 原 ひさし
 伊藤 保人
 安井ゆずる
 津田 若菜
 林 義村
 池田 和代

次 回
 日時 十一月十四日(月)
 兼題 「霜」「末枯れ」